

教科・科目名	単位数	年次・コース	選択群	教科書・出版社名	副教材・出版社名
家庭 生活と福祉	2	3年・普通科 スタンダード	選択G	なし	新・介護を支える 知識と技術 (中央法規)

学習目標	高齢者の健康と生活、介護などに関する知識と技術を習得するとともに、高齢者の生活の質を高め、自立生活支援と福祉の充実に寄与する能力と態度を身につける。 救急救命士の指導のもとAEDを使った心肺蘇生法、止血法などを体験することで、緊急時の対応についての技術を習得する。
主な学習内容	・健康とは ・高齢者の自立支援と介護 ・高齢者の心身の特徴 ・高齢者福祉の制度とサービス ・介護保険制度 ・生活援助と介護の実習
評価の 観点・規準	「関心・意欲・態度」・・・高齢者の健康と生活や家庭での介護について関心を持ち、その充実向上を目指して主体的に取り組もうとするとともに、実践的な態度を身につけている。 「思考・判断・表現」・・・高齢者の健康と生活、介護生活についての課題をみだし、その解決を目指して思考を深め、適切に判断し工夫し想像する能力を身につけている。 「技能」・・・家庭での介護生活を充実向上するために必要な基礎的・基本的な知識や技術を身につけている。 「知識・理解」・・・家庭介護の意義や役割を理解し、生活を充実向上するために必要な基礎的・基本的な知識を身につけている。
評価の方法	考查による評価・提出物など授業態度(実技態度も含む)を総合的に評価する。

学期	内容
1 学期	栄養と食事 身体のしくみと働き 皮膚の清潔(清拭) 車いすの使い方 実習《シーツ交換・身体の移動方法》 実習《手浴・足浴》 バイタルサイン(体温・呼吸・脈拍・血圧・意識) 認知症 期末考查
2 学期	救急法《止血法》 救急法《心配蘇生法(成人と乳児)・AED》 地域の福祉サービス、介護保険制度 褥瘡の予防 睡眠 排泄 感染予防 期末考查
3 学期	薬の正しい使い方 ガイドヘルプ 1年間のまとめ 学年末考查

備考 ・講座の特色 ・履修条件 ・注意事項 等	救急救命士による講習が10時間あり、ほとんどが実習のため、実習における授業態度(意欲・関心・態度)や技術についても積極的に評価をします。総合的に判断して一定の基準を満たしている場合、上級救命講習修了証がもらえます。
-------------------------------------	---